

# ダイヤシーラーエポ

## 概要

ダイヤシーラーエポは建物表面の含浸強化用に、エポキシ樹脂を特殊加工して製造した高性能シーラーです。吹き付け仕上げ、塗装仕上げ、モルタル、打放しコンクリートなどの劣化した脆弱面の改装に、また表面強度の小さいボード類（けいカル板等）の仕上げに、優れた補強機能を発揮します。そのほか、木部のアク止め等にも使用できます。

## 特長

- (1)浸透性が大きくてよく含浸し、硬化後の固着力に優れているため、下地の強化作用が強力です。
- (2)エポキシ樹脂を使用しているため、耐久性は抜群です。
- (3)各種下地に適応すると共に、その上に種々の仕上塗材・塗料で仕上げることができます。

## 用途

- (1)塗り替え工事における旧塗膜面  
旧塗膜の種類／セメントリシン、樹脂リシン、スキン、セメントスタッコ、樹脂スタッコ、エマルジョンペイント、ビニルペイント等  
※ただし、劣化が著しい有機質塗膜が膨潤軟化し、ちじみじわなどを生じて剥離するリフティング現象を起こすことがありますので、あらかじめ試し塗りしてください。
- (2)古いモルタル・打放しコンクリート・石綿スレート板の改装時の表面強化。
- (3)けいカル板、パーライト板、パルプセメント板、石膏スラグ板等の表面補強。
- (4)PCパネルのレイタンス面の強化。 ※ただし、著しいレイタンスは取除く必要があります。
- (5)合板のアク止め。

## 使用方法

- (1)調合 使用直前にダイヤシーラーエポ基材（A液）と硬化剤（B液）を均一に混合します。

(混合割合)	質量比	入れ目単位
基 材(A液)	1:1	7kg入り1缶
硬化材(B液)		7kg入り1缶

原則的に希釈の必要はありませんが、冬期の低温時に塗りにくい場合は上記A・B混合液100にダイヤエポキシ用シンナー10以内を加えうすめます。ただし、うすめすぎますと下地強化能力が低下しますので、うすめすぎないようにしてください。

- (2)可使用時間 A液、B液混合後、夏期4時間、冬期6時間以内
- (3)施工用具 ローラーブラシ中毛、刷毛。新築のボード類には、スプレーガンも使用できます。
- (4)改装・塗り替えの場合の施工
  - ①旧塗膜の浮きや剥離部分およびその周辺の付着力の弱い塗膜を充分除去して下さい。
  - ②旧塗膜やモルタル素地、打放しコンクリートの表面の著しい脆化層は除去して下さい。チョーキングなどの粉も落としておきます。前記の除去には、超高压水洗機が最適です。
  - ③油污れ、かび、苔その他の汚れも取り除いておいて下さい。
  - ④コンクリートの欠け・鉄筋発錆による損傷、モルタルの浮き・剥落、躯体のひびわれ等は、あらかじめ補修しておく必要があります。  
これらの補修には、当社のセメンシャス工法が適しています。
  - ⑤ダイヤシーラーエポは、通常1回塗りですが、下地の劣化が著しい場合は2回塗ります。重ね塗りは、20分～3時間の範囲で行って下さい。
- (5)新築の場合の施工 表面強度の小さいボード類、レイタンスのあるPCパネルおよび合板は、表面清掃後ダイヤシーラーエポを1回塗ります。ただし、PCパネルの厚いレイタンス層は、出来るだけ除去しておきます。

### (6)所要量

- ①改装・塗替えの場合：0.2～0.3kg/m<sup>2</sup>、46～70m<sup>2</sup>/14kgセット
- ②新築の場合：0.2kg/m<sup>2</sup>、70m<sup>2</sup>/14kgセット

### (7)仕上げが行なえる間隔時間

通 常	4～48時間	低温時	16～48時間
-----	--------	-----	---------

〈注意〉時間をおさすぎると仕上塗材や塗料の付着が悪くなりますので、仕上げは必ず48時間以内に行なって下さい。

## 試験成績

試験項目	品質基準	結果	試験方法
塗装作業性	刷毛塗り作業に支障がなく良好であること	支障なし	JASS 18 M-201
容器の中での状態	かき混ぜたとき堅いかたまりがなく、一樣になること	異常なし	JIS K 5600-1-1
乾燥時間	指触:2時間以内であること	1	JASS 18 M-201
	硬化:10時間以内であること	8	
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること	異常なし	JASS 18 M-201
可使時間(ポットライフ)	3時間以上異常のないこと	異常なし	JASS 18 M-201
上塗り適合性	上塗塗膜にしわ、膨れ、穴、剥がれなどの異常を認めないこと	異常なし	JASS 18 M-201
耐水性	72時間浸漬後、表面のひび割れ、剥がれ、膨れ、しわなどの異常を認めないこと	異常なし	JASS 18 M-201
耐アルカリ性	72時間浸漬後、表面のひび割れ、剥がれ、膨れ、しわなどの異常を認めないこと	異常なし	JASS 18 M-201
付着性	クロスカット法の評価分類が2以下であること	分類0	JIS K 5600:1999 5-6
	1.5N/mm以上	2.5N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6909:2003 7.9

## 包装単位

ダイヤシーラーエポ 基材 (A液) …………… 7kg角缶入  
 ダイヤシーラーエポ 硬化材 (B液) …………… 7kg角缶入  
 ダイアエポキシ用シンナー (希釈・洗浄用) ……16kg角缶入

## 施工・保管上の注意点

### 【塗装面の調整(新設)】

- ① 素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
- ② セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③ 雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④ PCパネル、現場打ちコンクリートの場合で表面が緻密でレイタンス層がある場合は、レイタンスを除去し、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。

### 【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ① 屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十数点検し適切な処置をして下さい。
- ② 使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

### 【塗装面の調整(改修)】

- ① 各現場の改装工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行なって下さい。
- ② 脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③ チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。

### 【材料の保管・管理】

- ① 開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ② 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③ ダイヤシーラーエポは危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。
- ④ 硬化剤は湿気で硬化しますので、使用後は密栓して保管して下さい。

### 【施工】

- ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③ 材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残リバリとなります。
- ④ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤ コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦ 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎはムラの原因になります。

- ⑧ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑨ 本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- ⑩ 希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎると本来の強度を発揮できない場合があります。
- ⑪ 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑫ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑬ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑭ 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑮ フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
- ⑯ 可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑰ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑱ ダイヤシーラーエポは2液タイプですので、小分けする場合は割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使時間の内に使い切して下さい。

### 【安全衛生上の注意】

- ① 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ② 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
- ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④ 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
- ⑤ 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧ 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨ 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 【その他】

- ① その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
- ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(24.7月現在) 24.07. SJ